

2024年度事業報告書案

特定非営利活動法人ダイバーシティサッカー協会

I 事業期間

2024年4月1日～2025年3月31日

II 事業の成果

1 スポーツや文化・芸術活動を通じた居場所づくり応援事業

ホームレス状態の当事者や経験者が集う東西の野武士ジャパンの練習会の定期開催に加え、新たな地域での居場所づくりが展開された。名古屋では、知的障害がある人などの地域生活を支援するNPO法人ポパイの居場所立ち上げのサポートが始まり、東海地域では初めてのフットサルプログラムを開催することができた。

また、昨年度に引き続き、リカバリーの学校@くにたちと連携してのダイバーシティサッカー体験会や大阪府高槻市の子ども食堂でのフットサル交流会を開催できた。子ども食堂の運営はソウル大会の選手も関わり、海外大会への参加と国内の草の根的な活動の連動もできた。

2 ダイバーシティサッカー大会(国内事業)

ダイバーシティリーグ

昨年度に引き続き、多様な背景や困難を抱える当事者やその支援者が、チームとして定期的に対戦し交流する「ダイバーシティリーグ」を開催した。「スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム」のアドバンスコースの助成を受け、関東・関西・宮城で計13回リーグ戦を開き、のべ638人が参加した。埼玉など、初めてリーグ戦を開催する地域もあり、過去にダイバーシティサッカー協会主催のイベントに参加したことがなく、サッカー経験がないという人の参加も一定数あった。

また成果として、団体として幅広いイベント開催のノウハウが蓄積された。これまで、多様な背景を持つ人が参加する場づくりは行ってきたが、1年間を通して幅広い地域で行うことで、それぞれの団体の特性や参加者に合わせた実施の経験を積むことができ、これらの経験はホームレス・ワールドカップ等の事業でも生かされた。今後、ノウハウをまとめ、スポーツを通じた居場所づくりの担い手の育成やコーチ派遣などの展開も期待できる。

ダイバーシティサッカー・フェスティバル

3月1日、ミズノフットサルプラザBumbで、ダイバーシティサッカー・フェスティバルを開催した。昨年に引き続いての開催で、ホームレス状態の経験者や精神障害の当事者、依存症や若者支援の団体など、13チーム、およそ150人が参加した。試合について、ほぼ通常通りのフットサルルールと特殊なルールの提案も可能な部門の2つのカテゴリーに分けたグループリーグを戦った。ハーフタイムショーとして、路上生活経験者によるダンス集団「新人Hソケリッサ！」と一橋大学を中心としたインカレミュージカルサークルの劇団WICKの有志メンバーがパフォーマンスを披露。閉会式は、フェスティバルの趣旨を理解し、最も自分らしく楽しんだ人やチームの表彰が行われたほか、チームごとの振り返りも実施した。

3 ホームレス・ワールドカップ(国際大会)など海外大会への選手派遣事業

ホームレス・ワールドカップ2024ソウル大会への日本チーム派遣

2024年9月、韓国・ソウルで開催された「ホームレス・ワールドカップ2024」に日本チームを派遣した。日本チームとしては13年ぶりの出場、ダイバーシティサッカー協会としては初めての派遣となった。

13年ぶりの派遣に際して、単なる出場にとどまらず、日本における広義の「ホームレス」問題に対する認識を改善する一助になることを目的に掲げ、出場資格にあたる「ホームレス状態」についても日本国内の状況に即して「不安定居住」と再定義し、若者支援団体や自立援助ホーム、生活困窮者支援団体などとも連携して、8名の選手を選出した。

監督には「まきばフリースクール」の中山崇志氏、ヘッドコーチには「スマイルサッカー」主宰の田中三千太郎氏、アシスタントコーチには長年ホームレスサッカーの現場を担ってきた佐竹城氏、GKコーチには事務局長の竹内佑一が就任し、選考練習会および合宿を経てチーム体制を整えた。

また、渡航や国内活動の費用について、個人からの支援を募る中、株式会社LIFULLがオフィシャルスポンサーとして協賛。資金面の支援に加え、ユニフォームのデザイン、広報活動、さらに希望選手の住まい探しなどにも協力を得ることができた。

大会には、世界38の国と地域から52チーム、約450名の選手が参加。ソウル市内の漢陽大学構内に設営された特設コートで熱戦が繰り広げられた。日本チームはグループリーク全戦全敗も、続く下位トーナメント初戦のギリシャを8-4で下し、初勝利をあげた。また、敵味方関係なく声援を送るなどしたことが認められて、フェアプレー賞を受賞した。最終的には1勝9敗で大会を終え、38カ国中34位だった。

選手たちは自分たちなりのチャレンジを全うできたという経験と、他国の選手との交流などを通じて、望む人生に向かって変わっていく力を得ることができた。帰国後には、まきばフリースクール主催のMKBカップやダイバーシティサッカー・フェスティバルで再会する機会もあり、それぞれのコミュニティでのロールモデルとしての役割も担うことにつながっている。

12月には報告会も開催したが、次回大会への参加意欲を持つ当事者や活動に関心を持つ支援者の参加も多くあった。13年ぶりの出場を果たした日本チームの挑戦によって「自分も何か関わってみたい」、「自分もホームレス・ワールドカップに出場したい」という声が多く寄せられ、継続した派遣の必要性も見えた。

ホームレス・ワールドカップ2025オスロ大会への日本チーム派遣

2025年8月に開催されるオスロ大会の派遣に向けて、渡航の準備を進めた。ソウル大会に引き続き、若者支援団体や生活困窮者支援団体からの選手を募るほか、紛争や迫害などを逃れて、ウクライナやアフリカから日本にきた難民や難民申請中の選手の出場を模索した。専門家や支援団体、当事者へのヒアリングなどをしてリスクを整理したほか、本大会への出場が叶わなくとも継続して参加できるフットサル交流会の開催の方針をまとめた。

加えて、渡航費用を募るためのクラウドファンディングの実施や、チーム運営のための準備を行った。

4 調査・研究・広報事業

ホームページを中心に、X(旧Twitter)、Facebook、InstagramなどのSNSを通じた発信を継続した。また、シンポジウムの登壇や新聞、ラジオ、雑誌などのメディアを通じた活動の紹介も行なった。ホームレス・ワールドカップに関連して問い合わせが増え、新聞、テレビ、ネットメディア等への出演や掲載が多数にのぼった。

2023年度と2024年度の活動やリーグ戦参加者のデータをまとめたアニュアルレポートは、インターン生や外部のデザイナーの協力を得ながらライティングやデザインを進め、来年度の発行を予定している。

調査・研究では、スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラムの助成を活用し、社会学者の伊藤康貴氏(大手前大学)の協力のもと、大阪のサッカーの活動に参加するひきこもり・不登校の経験者やその関係者を対象にしたインタビュー調査の分析等を行い、来年度発行予定の冊子に聞き取り等を掲載予定である。

III 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) スポーツや文化・芸術活動を通じた居場所づくり応援事業

(内容)

・野武士ジャパン運営サポート

毎月第2、第4土曜日に東京(@住吉公園、9:30-11:30)と大阪(@扇町公園、18:00-20:00)で、ホームレス状態の当事者・経験者が中心のチームの通常練習の運営をサポート。東京で計18回のべ235人、大阪で計21回のべ355人が参加した。

・オンラインプログラムと環境整備

パソコンと通信機器の貸し出しを継続した。

・新たな地域での居場所立ち上げサポート

NPO法人ポパイによるダイバーシティサッカー交流会開催サポート

07/29:ダイバーシティカップin愛知@テラスポ鶴舞(22人参加)

11/06:ダイバーシティリーグin名古屋@テラスポ鶴舞(22人参加)

高槻市内の子ども食堂「桜台みんな食堂」のフットサル交流会サポート

05/12:フットサル交流会@高槻市堤コミュニティセンター(20人参加)

リカバリーの学校@くにたち(延べ66人参加)

11/10:ダイバーシティサッカー体験会@一橋大学

12/21:ダイバーシティサッカー体験会@国立第二小学校

02/15:ダイバーシティサッカー体験会@国立第七小学校

(収 益) 0円

(費 用) 374,301円

(2) ダイバーシティサッカー大会(国内事業)

(内容)

・ダイバーシティリーグの開催

定期的なフットサル交流会「ダイバーシティリーグ」を東京・大阪・宮城で計13回開催。

東北 11/04:第1回@グリーンピア岩沼(約170人参加)

01/31:第2回(25人参加)

関東 06/29:第1回@ミズノフットサルプラザBumB(37人参加)

07/20:第2回@MIFA Football Park立川(29人参加)

09/08:第3回@トライフットボールフィールド(37人参加)

10/20:第4回@新しい村(51人参加)

11/30:第5回@ミズノフットサルプラザ調布(53人参加)

12/29:第6回@ミズノフットサルプラザBumB(36人参加)

関西 05/26:第1回@ピエリ守山(58人参加)

06/29:第2回@ノア・フットサルステージ天下茶屋(35人参加)

10/14:第3回@ノア・フットサルステージ天下茶屋(43人参加)

11/17:第4回@森ノ宮キューズモール(23人参加)

12/22:第5回@らいとぴあ21体育館(41人参加)

・ダイバーシティサッカー・フェスティバルの開催

東北や関東、関西でのリーグ戦の参加チームが集う祭典「ダイバーシティサッカー・フェスティバル」を、フットサルプラザBumBで開催した。当日は、リーグ戦参加チームに加え、アフリカ出身者等によるチームなど、合計13チーム、およそ150人が参加。

(収 益) 0円

(費 用) 1,777,703円

(3) ホームレス・ワールドカップ(国際大会)など海外大会への選手派遣事業

(内容)

・ホームレス・ワールドカップ2024ソウル大会への日本チーム派遣

選考練習会 04/27@ミズノフットサルプラザBumB(14人参加)

05/10&11@ミズノフットサルプラザBumB(16人参加)
06/16@トライフットボールフィールド(10人参加)
代表練習会 07/06@トライフットボールフィールド(15人参加)
08/04@トライフットボールフィールド(25人参加)
記者発表会 09/06@LIFULL本社
代表合宿 09/07&08@ミズノフットサルプラザBumB &トライフットボールフィールド
(16人参加)
本大会 09/21~09/28@韓国・ソウル、漢陽大学(選手8人、スタッフ8人)
帰国報告会 12/07@サイボウズ東京本社(45人参加)

(収 益) 0円

(費 用) 4,048,611円

(4) 調査・研究・広報事業

(内容)

・アニュアルレポート編集作業

当協会への活動の理解を広めるため、2023年度および2024年度の活動についてのまとめを行った。冊子については翌年度に発行し、活動に参加する当事者やその支援者、連携するパートナー団体に加え、市民や寄付者等に配布する。

・パートナー団体調査

伊藤康貴氏(大手前大学)と打合せを実施し、ひきこもりや不登校の経験者とその関係者によるチーム「ヒキマップ」(現:F.C.扇町クレセントーレ)への聞き取りをまとめた冊子の発行について検討をした。

・イベント登壇

06/21:ダイバーシティカップin愛知 キックオフ講演会(鈴木代表、竹内事務局長)
10/13:ヨコハマフットボール映画祭(竹内事務局長)

・メディア掲載一覧

08/22 LIFULL:「ホームレス」に関するイメージと実感調査「ホームレス・ワールドカップ」日本代表のスポンサー就任に際し、LIFULLとダイバーシティサッカー協会が共同で実施
08/22 AMP:今後自分がホームレス状態になる可能性、「ある」と思う人は35% 「ホームレス状態」に至った原因はイメージと実態にギャップあり
08/26 @DIME:20代の約半数が「今後自分がホームレスになるかもしれない」、全世代で最も高い結果に
08/28 マイナビニュース:約3人に1人「ホームレスになる可能性がある」と回答 - 年齢別にみると?
09/07 GOAL:「ホームレス・ワールドカップ」日本代表がスポンサーを得て13年ぶりの大会出場!初勝利を目指す
09/06 産経ニュース:「ホームレス・ワールドカップ」日本代表が13年ぶりに出場 前は全敗、「初勝利を」
09/12 ORICON NEWS:「普段はビッグイシュー誌の販売を…」 “ホームレス”サッカー大会、13年ぶりに日本代表が出場 選手が代表選出に喜び
09/13 朝日新聞「GLOBE」:ホームレス・ワールドカップに13年ぶり日本参加 住まいの不安なくし人生変わる経験を※11月3日誌面にも掲載
09/17 QOLY:今週末開幕の「ホームレス・ワールドカップ2024」、日本代表の新ユニフォームはこれ!『上昇』をコンセプトにLIFULLが制作

09/18 LIFULL STORIES:なぜ、スポーツが貧困やホームレスの解決に必要なのか。|ダイバーシティサッカー協会代表・鈴木直文さんに聞くスポーツと社会課題解決の関係性
09/19 LIFULL STORIES:新しいルール、新しい人と出会えるサッカーの練習が生活の糧になる—ホームレス・ワールドカップ選手の声—
09/19 LIFULL STORIES:定期的なサッカーの場が居場所と自信をくれた。—ホームレス・ワールドカップ選手の声—
09/19 HEDGE GUIDE:20代の46.6%が「自身がホームレスになる可能性ある」LIFULL調査
09/20 HUFFPOST:「普段はビッグイシューを販売」「ネットカフェを転々」ホームレス経験者が挑む「ワールドカップ」の意義
09/21 朝鮮日報日本語版:「ソウル2024ホームレス・ワールドカップ」開幕
09/26 KBS京都「笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ」:自立を支援するサッカーの世界大会「ホームレス・ワールドカップ」
09/26 フジテレビ「LIVE NEWS α」:「ホームレスW杯」に13年ぶり日本代表が出場！年齢もサッカー経験もバラバラな8人を住宅情報サイト運営会社が支援
10/01 GOAL:日本代表、13年ぶり出場の「ホームレス・ワールドカップ」で初勝利！フェアプレー賞も受賞
10/06 NHK「おはよう日本」:“自立への自信を” 挑戦支えるサッカー大会
10/11 KBS WORLD JAPANESE「金曜ステーション」:ソウルで開催されたホームレス・ワールドカップ2024
10/18 北海道新聞「各自各論」:ホームレスのサッカーW杯 ピッチで輝く選手たち(星野智幸コラム)
10/19 LIFULL(YouTube):【ドキュメンタリー】ホームレス・ワールドカップ日本代表の挑戦【LIFULL】
10/29 Forbes JAPAN(オンライン):ホームレスW杯サッカーで初勝利「日本代表」の別の課題(蛭間芳樹寄稿)
10/30 NHK「おはよう日本」:韓国「ホームレス・ワールドカップ」開催
11/01 ビッグイシュー日本版:楽しみ、世界と交流した！13年ぶり参加の日本チーム
11/20 THE BIG ISSUE ONLINE:ホームレス・ワールドカップ2024、韓国で開催-日本代表チームの平均年齢が下がった背景
11/21 THE BIG ISSUE ONLINE:ホームレス・ワールドカップ2024、韓国で開催-日本の最高齢プレイヤー山田さんが語る
11/25 NHKラジオ「マイあさ」:『ホームレスワールドカップ』格差・貧困からの一歩
11/30 テレビ東京「FOOT×BRAIN」:サッカーで社会と繋がる！ホームレスW杯がもたらす希望の光
12/02 IDEAS FOR GOOD:サッカーに打ち込むことが、生きるエネルギーに。心も生活も支援する、ホームレス・ワールドカップの物語
12/29 時事通信:サッカーでホームレスなくせ 代表背負い「W杯」へ—自立支援、偏見解消目指す

・その他

HPの運用、ニュースレターの送付、アンバサダー・協力団体との打合せ、各種メディアへの取材対応や記事執筆、SNSでの情報発信などを適宜実施

(収益) 0円
(費用) 412,478円

IV 社員総会の開催状況

2024年度通常総会

(日 時) 2024年6月6日 21時00分から22時00分

(場 所) 議長自宅およびオンライン開催(Zoomを使用)

(社員総数) 13名

(出席者数) 10名(うちオンライン出席9名)

(内容) 第1号議案 監事の交代について

審議の結果、参加社員の挙手評決により可決

第2号議案 2023年度事業報告・決算案の件

審議の結果、参加社員の挙手評決により可決

第3号議案 2024年度事業計画・予算案の報告

第4号議案 議事録署名人の選任の件

V 理事会その他の役員会の開催状況

2024年度第1回理事会

(日時) 2023年6月6日 20時00分から20時59分

(場所) 議長自宅およびオンライン開催(Zoomを使用)

(理事・監事総数) 理事6名 監事2名

(出席者数) 理事5名 監事2名(うちオンライン出席者6名)

(内容) 第1号議案 2023年度事業報告・決算案の件

審議の結果、参加理事の挙手評決により可決

第2号議案 2024年度事業計画・予算案の件

審議の結果、参加理事の挙手評決により可決

第3号議案 議事録署名人の選任の件

2024年度第2回理事会

(日時) 2024年12月12日 20時00分から22時00分

(場所) 議長自宅およびオンライン開催(Zoomを使用)

(理事・監事総数) 理事6名 監事1名

(出席者数) 理事5名 監事0名(うちオンライン出席者4名)

(内容) 第1号議案 ホームレス・ワールドカップ2024ソウル大会の報告と
オスロ大会について

第2号議案 今年度の活動報告と来年の計画について

第3号議案 会計年度の決算月の変更について

第4号議案 議事録署名人の選任の件